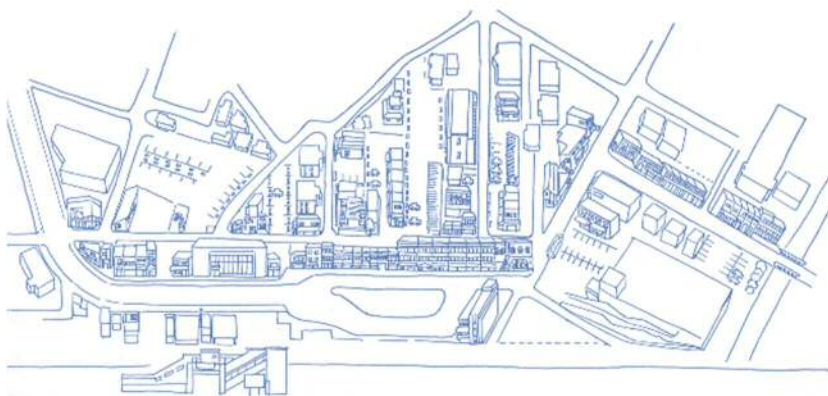


武里エリアビジョン デザイン会議 活動報告(第4回)



令和4年1月11日に第4回「武里エリアビジョンデザイン会議」を開催しました。

本会議は、武里駅西口周辺におけるリノベーションまちづくり※の実施に向けて、今後のまちのイメージを共有することを目的としています。

※リノベーションまちづくりとは

遊休不動産や公共空間などの空間資源、地域資源、産業および人材といった既存ストックを活用し、地域のコミュニティの衰退など都市や地域の課題解決を図りながら、まちに新しい価値や魅力を生み出すまちづくりの手法です。

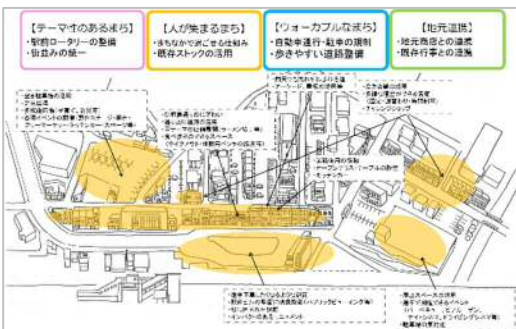
第4回目は、今後のまちのイメージを表すキャッチフレーズ(案)について検討しました。

はじめに、前回のグループワークで出た意見やアイデアのふりかえりとして、武里駅西口ロータリーとその裏通りをメインにアイデアを落とし込んだ地図を確認しました。

また、昨年11月に、これまでの会議でまとめたご意見・アイデアを、武里まちづくり検討会へ共有した旨を報告するとともに、その際にいただいたご意見をメンバーにフィードバックしました。

ワークシヨップで

は、「まちのイメージ」全体を表すキャッチフレーズ案を固めるために、3グループに分かれてそれぞれ話し合っていた。最後に、各グループで考えたキャッチフレーズ案を発表しました。



発表の際には、キャッチフレーズ案とともに、キャッチフレーズに込めた思いについても共有しました。

★まちのイメージを表すキャッチフレーズ案

歩きなくなるまち武里

～レトロなまちをちょっと冒険～

・裏道などを歩いて古き良い建物やお店を発見して欲

しい

・ちょっと降りて立ち寄ってもらいたい
・気軽に駅を降りてもらいたいので、あまり時間がかからないというメッセージを伝えるため「ちょっと」というワードを加えました

ゆたかさ、たのしさ、たけさ

・まずは住んでいる人が豊かに暮らせるまちにしたい
・子どもから高齢者まで多世代が交流し、豊かに楽しく暮らせるまちにしたい
・「〇〇さ」との表記を変えて、エリア内の店舗などが自由にキャッチコピーを使えるようにしたい(例:飲食店なら「おいしさ」だけさ)」など)

みんなでつくる新しいレトロシティ

・レトロ感を大切にする事で、高齢者に喜ばれるまち
・見た目はレトロながら、若い人でも楽しめる新しいエリアをつくりたい
・子どもから高齢者まで参加しやすいまちにしたい

本会議の開催も残り1回となりました。

第5回会議においては、キャッチフレーズについて検討するとともに、まちのイメージを共有していきたいと思います。

次回の会議は3月を予定しています。